

鹿追町国保病院新改革プラン（令和２年度）実施状況 点検・評価報告

鹿追町国保病院新改革プラン（以下、「新改革プラン」といいます。）は平成２８年度から３２年度までの５年間を計画期間として、経営の効率化に主眼を置き、安定した医療提供体制を確保し良質な医療を継続して提供していくため、経営の健全化を目指すものです。

新改革プランでは、実施状況について、毎年、実施状況について点検・評価を行い、鹿追町ホームページ等を通じて公表することとしています。

団 体 名	北海道 鹿追町	
プランの名称	鹿追町新公立病院改革プラン	
策 定 日	平成２９年３月１日	
計 画 期 間	平成２８年度～平成３２年度	
病院の現状	病 院 名	鹿追町国民健康保険病院
	所 在 地	北海道河東郡鹿追町東町１丁目３８番地
	病 床 数	５０床（一般２３床、療養２７床）
	診 療 科 目	内科、外科、眼科、循環器科、脳神経内科、呼吸器科（休診）、小児科（休診）、整形外科（休診）
公立病院として果たすべき役割（概要）	<p>「地域医療構想」の求める医療の在り方は、高齢化の進展による医療ニーズの変化により、病院で治す医療から、病気を抱えながら地域で生活していく「支える医療」に変化していくことを求めている。団塊の世代が７５歳以上となる２０２５年に向けて患者の状態に即した適切な医療・介護が適切な場所で受けられる医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を目的としている。</p> <p>「十勝区域地域医療構想」では、２０１４年と比較して２０２５年に必要とする病床を示している。</p> <p>当院においては、町内唯一の救急医療機関として急性期２３床（一般病床）と、医療療養病床での治療を必要とする入院患者の受け入れを継続し慢性期２７床を堅持する。</p> <p>更に、保健・医療・福祉・介護と連携した地域包括ケアシステムを構築し「地域で支える医療」に向けた態勢づくりを推進する。</p>	

点検・評価・公表等	点検・評価・公表の体制	鹿追町国民健康保険運営協議会を通じて町長、副町長、企画財政課長を交えて点検・評価する
	点検・評価・公表の時期	毎年度の議会への決算報告とあわせ9月とする。
	数値実績、点検結果・評価の内容	ホームページに掲載
その他特記事項		

## (1) 総括事項

令和2年度は、世界中を震撼させた新型コロナウイルスが蔓延し経済を大きく混乱させ、その影響は未だに続いています。

医療を取り巻く環境もコロナウイルス対応に翻弄され、感染の拡大により病院の受診を控える傾向となり更に蔓延を防ぐ目的から薬の長期投与を始め、患者数が減少となりました。

院内体制は、外科の白山真司先生を副院長としてお迎えし診療体制の充実を図り、「治す医療」から「地域で支える医療」をモットーに訪問診療にも傾注し、更に特別養護老人ホームなどとの連携を深め、更に非常勤医師による専門外来や応援診療を確保しながら地域医療と救急患者受け入れの確保に努めてきました。

経営面では、コンサルタントによる経営分析を行い経営改善に活かす予定です。地域ごとに効率的で不足のない医療提供体制を構築する目的の「地域医療構想」は、コロナ禍により地方における自治体病院の役割が大きくその必要性が高まっていることから国の指針も示されず新公立病院改革プランの策定も次年度以降となっています。

何よりも自治体病院の使命は、地域住民の医療を確保し更に健康保持のための公衆衛生活動を行うことです。

今後も安全・安心な医療を推進し地域に信頼される病院づくりに努めて参ります。

## (2) 経営状況

### ①患者数の状況

入院患者総数が、9,902人（一日平均数27.1人）と前年度の11,844人（一日平均32.4人）に比べ1,942人の減少。病床稼働

率は54.3%で、前年度に比べ10.4%の減となりました。

外来患者数は、17,562人（一日平均数72.3人）で、前年度の19,985人（一日平均82.6人）に比べ2,423人の減少となりました。

## ②決算状況（税抜き）

入院診療報酬は、148,420,949円と前年度より15,130,749円減収となりました。

外来診療報酬では、228,947,401円と前年度より38,758,709円減収となりました。

入院、外来その他医業収益を含めた医業収入は、399,294,074円と前年度より54,242,963円の減収となっています。

医業外収益も含めた病院事業収益は前年度より55,953,872円減の691,957,518円となりました。

一方、医業外費用を含めた病院事業費用は707,855,531円で前年度と比較して34,912,894円の減となりました。その主なものは、令和2年度から院外での調剤に移行することから購入薬品を抑えられ減少要因となりました。

以上の結果、税抜き処理後15,898,013円の当年度純損失を計上し、当年度末の未処分利益剰余金は19,062,624円となりました。

① 経営指標に係る数値目標

1) 収支改善に係るもの

	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (目標)	2年度 (実績)
経常収支比率 (%)	100.8	100.7	100.0	97.9
医業収支比率 (%)	63.3	63.3	84.7	58.8
職員給与比率 (%)	89.1	86.8	67.5	100.5
材料費対医業収入比率	36.1	36.4	30.4	34.1
薬品購入費対医業収入比率	32.6	32.9	29.0	28.0

2) 経費削減に係るもの

	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (目標)	2年度 (実績)
後発品薬品導入率 (%)		58.9	70.0	67.7
診療材料費の対医業収益比率 %	6.7	6.6	5.4	7.1
委託料の対医業比率 (%)	15.7	18.1	9.8	17.2

3) 収入確保に係るもの

	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (目標)	2年度 (実績)
1日当たり入院患者数 (人)	29.0	32.4	41.1	27.1
1日当たり外来患者数 (人)	90.7	82.6	115.0	72.3
病床利用率 (%)	58.0	64.7	82.2	54.2
患者一人当たり薬品購入費	3,260	3,412	3,994	4,073
患者一人当たり診療材料購入費	666	694	743	1,034

4) 経営の安定性に係るもの

収益的収支

	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (目標)	2年度 (実績)
A 一般会計からの繰入金	264,896	280,930	124,000	273,632
B 国からの交付税交付金	150,514	156,712	138,000	166,967
C 国からの補助金	1,638	2,865		3,848
A-B-C=D	112,744	121,353	△14,000	102,817

実質町運営補助金				
(運営補助金)	109,725	118,789		100,715
(企業債利息補助金)	3,019	2,564		2,102

#### 資本的収支

	30年度 (実績)	元年度 (実績)	2年度 (目標)	2年度 (実績)
企業債出資金(償還金補助)	46,682	42,588		0
収入額が支出額に不足する補填額	23,642	8,015		59,894
(過年度分留保資金)	21,554	7,329		57,780
(消費税調整額)	2,088	686		2,114

#### 備考

- 1 経常収支比率とは、通常の病院活動による収益状況を示す指標であり、算出方法はつぎのとおりである。

$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{医業収益} + \text{医業外収益}}{\text{医業費用} + \text{医業外費用}} \times 100$$

- 2 医業収支比率とは、病院の本業である医業活動に要した医業費用に対する医業収益の割合を示す指標であり、算出方法はつぎのとおりである。

$$\text{医業収支比率} = \frac{\text{医業収益}}{\text{医業費用}} \times 100$$

- 3 職員給与比率とは、医業収益に対する職員給与費の比率であり、算出方法は次のとおりである。

$$\text{職員給与費比率} = \frac{\text{職員給与費}}{\text{医業収益}} \times 100$$

- 4 病床利用率とは、病院の施設である病床がどれだけ有効に利用されているかを示す指標であり、算出方法は次のとおりである。

$$\text{病床利用率} = \frac{\text{年間延入院患者数}}{\text{年間延病床数}} \times 100$$